

会 議 録

1 会議名

令和4年度第1回上越市地域包括支援センター運営協議会

2 議題（公開・非公開の別）

（1）令和3年度地域包括支援センターの業務実績について（公開）

①業務実績（資料1）

②地域包括支援センターの事業評価（資料2）

（2）令和4年度地域包括支援センターの重点取組について（公開）（資料3）

（3）地域包括支援センターの次期委託契約の更新について（公開）（資料4）

3 開催日時

令和4年7月15日（金）午後7時から8時30分まで

4 開催場所

福祉交流プラザ2階 第1会議室

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委員：揚石義夫(会長)、原等子(副会長)、梨本由美子、植木信宏、田中美紀、
竹内明美、馬場隆信、白倉由利枝、宮越亮、内藤伸子、江部健幸、
佐藤正孝、吉村敏樹、加藤智範、竹田徳子

・事務局：小林福祉部長

すこやかなくらし包括支援センター 渡辺所長、岩崎次長、高宮上席社会
福祉士長、福田副所長、佐藤保健師長、小酒井主任、坪井主任

高齢者支援課 伊藤副課長、高橋作業療法士長

福祉課 牛木副課長、八木副課長、内田係長、太田係長

8 発言の内容

〈5 議題〉

（1）令和3年度地域包括支援センターの業務実績について（公開）

①業務実績（資料1）

②地域包括支援センターの事業評価（資料2）

佐藤保健師長：資料1、資料2により説明

植木委員：地域包括支援センターが障害相談の窓口も担っていることについて、どのような周知をしているのか。

佐藤保健師長：各地域包括支援センターが独自にチラシを作成しているほか、市でも地域包括支援センターに関する共通のチラシを作成し、老人会などの会合等の機会をとらえ、配布している。また、市で発行する広報上越、障害福祉ハンドブックでも周知を行っている。

原副会長：若年性認知症の人が必要な支援の介入を拒む案件は全国的にある。地域包括支援センターには、認知症に関する認識を高めてほしい。また、資料2-2にある地域包括支援センターの事業評価について、介護予防ケアマネジメント・介護予防支援の評価が全国平均よりも低かったのは、インフォーマルな資源の検討や導入が不十分だったということか。

伊藤副課長：介護予防ケアマネジメント・介護予防支援の評価が低かったのは、市がセルフマネジメントの支援の手法を示していなかったためである。厚生労働省は介護予防手帳等の雛型を示しているが、全国の自治体の平均では、3割程度の導入となっている。今後先進地等の情報収集を進め、その効果を検討していく予定である。

原副会長：インフォーマル資源の導入に関しては、全国と比べてどうだったのか。

伊藤副課長：本調査はインフォーマル資源を導入しているか否かという評価基準であり、当市は導入しているという回答をしている。

梨本委員：生活困窮や高齢者虐待事案等、困難な事案について、地域包括支援センターから助言をもらったり、同行支援をしてもらったりしている。高齢者虐待75件のうち、ケアマネジャーからの通告数、コアメンバー会議の開催数について教えてほしい。

佐藤保健師長：現在資料を持ち合わせていないので、後ほど回答する。

小林部長：市では、ケアマネジャーを支援するため、高齢者支援課と居宅介護支援事業所が話し合う場を作ってきたが、十分に機能していない印象がある。高齢者支援課と地域包括支援センターが役割分担して関わっていく必要性を感じている。

宮越委員：上越市の利用助成制度は、生活保護世帯に該当しない低所得者が利用しにくいという声を聞いたことがある。利用助成制度の見直しをするという話もあったようだが、現状はどうなっているのか。

福田副所長：成年後見制度の利用助成制度について、障害者は福祉課、高齢者は高齢者支援課で所管している。生活保護に該当しない方の利用助成制度の利用の可否は生活保護基準に基づいて判断しており、ここ数年制度の見直しは行っていない。なお、昨年開催した成年後見制度の関係団体を集めた会議の中で、利用助成制度が使いにくいという意見は出ているため、関係課と協議を重ねて課題を検証していきたい。

宮越委員：障害者虐待について、通報数や認定数を教えてほしい。

坪井主任：養護者からの虐待に関しては16件の通告があり、虐待と判定したケースは2件、いずれも身体的虐待だった。施設従事者等による虐待は、通報が10件あり、虐待と判定したケースが4件、いずれも心理的虐待だった。

宮越委員：障害者虐待について、コアメンバー会議を行う際の所内の構成メンバーを教えてください。

坪井主任：すこやかなくらし包括支援センターの担当職員と管理職が主たる構成メンバーになる。必要に応じて、例えば障害福祉サービス利用しているケースの場合は、相談支援専門員からも参集してもらうことがある。

(2) 令和4年度地域包括支援センターの重点取組について（資料3）

佐藤保健師長：資料3により説明

揚石会長：介護予防・重症化予防については、口腔の健康を守ろうということが国から大きく打ち出されている。歯科医師会の立場で、地域包括支援センターに求めることはあるか。

佐藤委員：歯科検診の重要性は、歯科医師会からも政府に働きかけていきたいと考えているところである。市としても、国の動向を踏まえて、口腔の健康が全身の健康につながるということを周知し、介護予防・重症化予防を進めてほしい。

揚石会長：保健事業と介護予防は大きく関わってくるところである。今年度の取組を踏まえ、次年度の地域包括支援センター運営協議会において、それぞれの兼ね合いや具体的な対応について報告してほしい。また、相談支援に関して、地域包括支援センターの課題や望むところはあるか。

江部委員：対応力の向上においては、相談者の困りごとなどをきちんと聴くことが最も必要なことだと思う。忙しいからなのか、相談内容と支援方法の組み立てが早過ぎて、相談者の声が置き去りにになっていることがあるため、研修や事例検討

といった学びの場を作っていくことが必要だと考える。また、支援者の力量形成とともに相談件数も増えていくことが予測されるので、支援を効率的に展開していくために、セルフケアマネジメントについても考えていかなければならないと感じている。

内藤委員：障害の継続支援ケースが増えているという報告について、地域包括支援センターだけが抱えるのではなく、支援機関で共有し、チーム対応ができると良い。

馬場委員：民生委員・児童委員の立場として、なんとなく実態を把握していても、家族からの相談がないと関わりにくい状況がある。地域包括支援センターの実績ではひきこもり相談の件数が増えているが、どのような関わり方をしているのか。民生委員児童委員と地域包括支援センターは顔を合わせることも多いので、情報交換ができると良い。

高宮上席社会福祉士長：ひきこもり相談に関しては、家族が隠そうとするケースもあるため、全てが相談につながるわけではないが、最近は家族からの相談が増加している。まずは家族との面談を重ね、本人とどう接触を図るか、時間をかけて検討している。また、地域の方から相談を受けた場合には、例えば高齢である両親の下へ訪問する形で世帯に介入し、本人のひきこもりの実態の把握に努めるようにしている。必要な情報は、民生委員・児童委員との会合や電話等を活用し、情報共有を行っていきたい。

竹内委員：地域包括支援センター職員から説明を受けた際、「これを読んでください」と用紙を渡されたが、専門用語が多くて理解できなかったという声を聴いているので、今後は丁寧に説明してほしい。

(3) 地域包括支援センターの次期委託契約の更新について（資料4）

福田副所長：資料4、追加資料1、追加資料2により説明

（現状と課題について説明。次回の地域包括支援センター運営協議会では、次期委託契約更新の方向性(案)を説明予定。）

加藤委員：接骨院を営む中で、コロナ禍になって高齢者の外出や集まりの機会が減り、筋力が落ちたり、転倒してケガをしたりする方が増えている印象がある。また、介護認定審査会においても、転倒して骨折したという事例が増えているように感じる。高齢者が自宅でできる運動の提案などについて、地域包括支援センターにおいても力を入れて啓発してほしい。

揚石会長：地域包括支援センターは介護予防業務に取り組んできたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、これまでの取組が後退してしまっている状況にある。市としてこれからどう立て直して介護予防を進めていくのか、次回の地域包括支援センター運営協議会で意見を集めると良いのではないかと。

竹田委員：介護相談員という立場で市民の相談を受けるが、地域包括支援センターを認識していない人はまだ多いように感じる。相談に来る人は、様々な課題を抱えていることもあるので、時間をかけて対応してほしい。

〈6 その他〉

揚石会長：次第の「6 その他」について、事務局から説明をお願いしたい。

佐藤保健師長：先ほどお答えできなかった、梨本委員から質問のあった高齢者虐待の件数について、説明させていただきたい。75件の通告のうち40件が警察、21件がケアマネジャーからの通告、その他は、民生委員児童委員や介護保険サービス事業所からの通告となっている。コアメンバー会議の開催数は37回となっている。

岩崎次長：今年度の地域包括支援センター運営協議会は3回開催する計画であり、次回は10月頃を予定している。

9 問合せ先

福祉部すこやかなくらし包括支援センター支援係

TEL：025-526-5623（内線302）

E-mail：sukoyaka@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。